

第4学年 国語科 評価規準

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
4月	つないで つないで (2時間)	知識及び技能	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。
		思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもっている。
		主体的に学ぶ態度	相手の言葉や動きを受け止め、相手が伝えたいことは何かすすんで考え、自分の考えをもとうとしている。
4月	春のうた／あり (1時間)	知識及び技能	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		思考・判断・表現	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
		主体的に学ぶ態度	すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
4月	白いぼうし (10時間)	知識及び技能	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
		思考・判断・表現	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
		主体的に学ぶ態度	進んで登場人物の気持ちや性格、情景について具体的に想像し、今までの学習を生かして、登場人物になったつもりで日記を書こうとしている。

時期	単元名	主な評価領域	評価規準
5月	見つけよう、ぴったりの言葉 (4時間)	知識及び技能	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。

第4学年 国語科 評価規準

		主体的に学ぶ態度	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見通しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。
5月	漢字の広場 ① 漢字の部首 (2時間)	知識及び技能	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。
		主体的に学ぶ態度	進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
5月	三年生で学んだ漢字 ① (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
5月	ぞうの重さを量る (2時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。
		主体的に学ぶ態度	粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、考える筋道をつかもうとしている。
5月	花を見つける手がかり (10時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。

第4学年 国語科 評価規準

		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。
		主体的に学ぶ態度	積極的に、言葉に着目しながら実験内容を読み取り、学習課題にそって、段落相互の関係をおさえながら文章を読もうとしている。
5月	分類をもとに本を見つけよう (4時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
		思考・判断・表現	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。
		主体的に学ぶ態度	分類を手がかりに目的の本を見つけ、読んでわかったことを記録しようとしている。
6月	言葉の広場① 漢字辞典の使い方 (2時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。
		思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。
6月	メモの取り方をくふうして聞こう (3時間)	知識及び技能	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
		思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。
		主体的に学ぶ態度	メモの取り方を工夫したり、相手に質問したりしながら、必要な情報について積極的に聞き、自分の考えをもとうとしている。

第4学年 国語科 評価規準

6月	三 伝わりやすい組み立てを 考えて書こう リーフレット で知らせよう (10時間)	知識及び技能	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。
7月	いろいろな手紙 (2時間)	知識及び技能	丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
		主体的に学ぶ態度	粘り強くまちがいを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認、学習の見通しをもって、送る相手や伝える目的に合わせた手紙を書こうとしている。
9月	言葉の文化① 短歌の世界 (4時間)	知識及び技能	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		主体的に学ぶ態度	すすんで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。
7月	漢字の広場② 漢字の音を表す部分 (2時間)	知識及び技能	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。
		思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	すすんで漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習課題にそって、「音を表す部分」を漢字を覚えたり使ったりすることに役立てようとしている。
7月	都道府県名に用いる漢字	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、

第4学年 国語科 評価規準

	(1時間)		文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。
7月	三年生で学んだ漢字② (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
7月	四 落語を声に出して楽しもう 落語 ぞろぞろ (10時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
		主体的に学ぶ態度	すすんで場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、今までの学習を生かして落語を音読したり演じたりして楽しもうとしている。

第4学年 国語科 評価規準

7月	読書の広場②	知識及び技能	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
	ひろがる読書の世界	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている
	(1時間)	主体的に学ぶ態度	読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしている。
9月	五 話の組み立てを考えて	知識及び技能	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
	発表しよう	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。
	写真から読み取る	主体的に学ぶ態度	粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。
9月	六 集めたざいりょうでわかりやすく伝えよう	知識及び技能	・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
	作ろう学級新聞	思考・判断・表現	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
	(5時間)	主体的に学ぶ態度	粘り強くまちがいを正したり文章を整えたりし、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。
9月	漢字の広場③	知識及び技能	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。
	送りがなのつけ方		

第4学年 国語科 評価規準

	(2時間)	思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	すすんで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字を正しく使おうとしている。
9月	三年生で学んだ漢字③ (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている
		思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
9月 ～ 10月	六 場面の様子をくらべて 読み、感想をまとめよう 一つの花 (9時間)	知識及び技能	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
		思考・判断・表現	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
		主体的に学ぶ態度	すすんで場面の様子を比べて読み、大切な言葉から作品に込められたメッセージや作者の思いを積極的に想像し、今までの学習を生かし、自分の考えたことや感想を感想文に書いて、伝え合おうとしている。
10月	言葉の広場② 修飾語 (2時間)	知識及び技能	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。
		思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	すすんで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つめたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。

第4学年 国語科 評価規準

10月	七 自由に想像を広げて書こう 「ショートショート」を書こう (6時間)	知識及び技能	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりし、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。
10月	言葉の文化② 「月」のつく言葉 (1時間)	知識及び技能	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
		主体的に学ぶ態度	すすんで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関係する言葉を集めようとしている。
10月	国語の学習 つながる ひろがる (1時間)	知識及び技能	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
		思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		主体的に学ぶ態度	すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、上巻の教科書での国語の学習を振り返ったり下巻の教科書での国語の学習への希望を話し合ったりしようとしている。
10月	一 場面のうつりかわりと結びつけ、登場人物の変化	知識及び技能	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
		思考・判断・表現	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。

第4学年 国語科 評価規準

	<p>を読もう</p> <p>ごんぎつね</p> <p>(8時間)</p>	主体的に学ぶ態度	<p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p> <p>すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わり結びつけて具体的に想像し、学習課題にそって登場人物になりきって、気持ちの変化がわかるように日記を書こうとしている。</p>
10月	<p>「読書発表会」をしよう</p> <p>(5時間)</p>	知識及び技能	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。
		思考・判断・表現	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
		主体的に学ぶ態度	ブックトークに向けて、すすんで本を集めたり発表内容を考えたりし、粘り強く活動に取り組んでいる。
11月	<p>言葉が表す感じ、言葉から</p> <p>受ける感じ</p> <p>(4時間)</p>	知識及び技能	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。
		思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。
		主体的に学ぶ態度	進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って、言葉がもつイメージについて考えようとしている。
11月	<p>二 役わりに気をつけて話し合おう</p> <p>みんなが楽しめる新スポーツ</p> <p>(8時間)</p>	知識及び技能	<p>・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>
		思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。
11月	<p>漢字の広場 ④</p> <p>いろいろな意味を表す漢字</p>	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。

第4学年 国語科 評価規準

	(2時間)	思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。
1 1 月	三年生で学んだ漢字④ (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
1 2 月	三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ (9時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
		主体的に学ぶ態度	すすんで、本文を読んで自分が興味をもった部分を要約することを通して、学習課題にそって、本文をわかりやすく紹介する文章を書こうとしている。
1 2 月	言葉の広場④二つのことが らをつなぐ言葉	知識及び技能	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。
		思考・判断・表現	

第4学年 国語科 評価規準

	(2時間)	主体的に学ぶ態度	進んで接続する語句の役割について理解し、学習の見通しをもって、接続語のはたらしきを意識して正しく使い分けようとしている。
1 2 月	四 調べたことをわかりやすく書こう 「不思議ずかん」を作ろう (6時間)	知識及び技能	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
		思考・判断・表現	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている
		主体的に学ぶ態度	積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。
1 2 月	言葉の文化③ 故事成語 (4時間)	知識及び技能	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		主体的に学ぶ態度	積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。
1 月	詩を読もう いろいろな詩／おおきな木 (1時間)	知識及び技能	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。
		思考・判断・表現	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。
		主体的に学ぶ態度	進んで、詩を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって発表し合おうとしている。
1 月	漢字の広場 ⑤ 熟語のでき方 (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	

第4学年 国語科 評価規準

		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、二つの漢字を組み合わせた熟語の構成について考えようとしている。
1月	三年生で学んだ漢字⑤ (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
1月	五 自分の経験と結びつけて考えたことを伝え合おう くらしを便利にするために (6時間)	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に筆者の考えと自分の考えを比べながら読むことを通して、具体例な経験をもとに考えをまとめることの有効性に気づいている。
1月	手話であいさつをしよう (1時間)	知識及び技能	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。
		思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる
		主体的に学ぶ態度	手話には考えや思いを伝えるはたらきがあることに気づき、学習課題にそってすすんで手話であいさつをしようとしている。

第4学年 国語科 評価規準

1月	調べてわかったことを発表しよう 「便利」をさがそう (8時間)	知識及び技能	比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。
		思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において, 話の中心や話す場面を意識して, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などを工夫している。
		主体的に学ぶ態度	身のまわりの「便利」について調べ, わかったことを図などの資料を示しながら, 言葉の調子や強弱, 間の取り方に気をつけて発表しようとしている。
2月	点(,)を打つところ (2時間)	知識及び技能	・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに, 句読点を適切に打っている。 ・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。
		思考・判断・表現	
		主体的に学ぶ態度	進んで句読点のはたらきを理解し, 学習課題に沿って, 文や文章の中で適切に使おうとしている。
2月	六 伝えたいことをはっきりさせて書こう 自分の成長をふり返って (9時間)	知識及び技能	・漢字と仮名を用いた表記, 送り仮名の付け方, 改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに, 句読点を適切に打っている。 ・主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。
		思考・判断・表現	・「書くこと」において, 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくったり, 段落相互の関係に注意したりして, 文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において, 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして, 文や文章を整えている
		主体的に学ぶ態度	積極的に, 書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い, 学習の見通しをもって, よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。
2月	言葉の文化④ 雪	知識及び技能	長い間使われてきたことわざや慣用句, 故事成語などの意味を知り, 使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において, 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。

第4学年 国語科 評価規準

	(1時間)	主体的に学ぶ態度	進んで、長い間使われてきた「雪」に関わる言葉の意味を知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。
2月	漢字の広場 ⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け	知識及び技能	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。
		思考・判断・表現	
		(2時間) 主体的に学ぶ態度	進んで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で正しく使おうとしている。
2月	三年生で学んだ漢字⑥ (2時間)	知識及び技能	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。
		思考・判断・表現	「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、お話の一場面を書こうとしている。
3月	七 場面のおつり変わり と、登場人物の気持ちの 変化を読もう 木竜うるし（人形げき） (8時間)	知識及び技能	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。
		主体的に学ぶ態度	積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考え、学習課題にそって、考えたことを根拠をはっきりさせて伝え合おうとしている。

第4学年 国語科 評価規準

3 月	国語の学習　これまで　こ れから (2時間)	知識及び技能	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
		主体的に学ぶ態度	進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。